

●九州支部 第 45 回 湯川正夫記念講演会  
第 79 回講演討論会

1. 日時 平成 4 年 12 月 4 日(金) 13:00~16:40  
2. 場所 住友金属工業(株)小倉製鉄所 SUMIX ホール

第 45 回湯川正夫記念講演会

13:00~14:20

演題 『最近の自動車用鉄鋼材料における進歩と問題点』

講師 福岡工業大学 電子材料工学科 教授 武智 弘

自動車用鉄鋼材料は最近目ざましい進歩を遂げつつあるが、その中で超成形性鋼板、高張力鋼板、表面処理鋼板、制御鋼板、排気系材料、ボルト・歯車・バネ鋼等の特殊鋼をとりあげ、技術の現状と問題点について解説する。

第 79 回講演討論会

討論テーマ 『自動車用材料』

14:40~15:20

演題 『軽量化素材—アルミニウム合金の特徴と問題点』

講師 住友軽金属工業(株)取締役 技術研究所副所長 馬場 義雄

自動車の軽量化素材としてのアルミニウム合金は、その軽量化効果が大きく、原料のボーキサイトの埋蔵量も多く、リサイクルにも適しているため、長期的に見た場合きわめて有望な材料と思われる。ここでは最近の自動車へのアルミニウム採用動向と、二三の代表的な適用部品(パネル、補強材)に使用されているアルミニウム合金展伸材の特徴と問題点について述べる。急冷粉末合金、Al-Li 合金等の新素材についても簡単にふれたい。

15:20~16:00

演題 『燃料タンク材料の現状と今後の動向について』

講師 新日本製鉄(株)技術開発本部 主任研究員 水口 俊則

鉛とスズをめっきしたターンめっき鋼板は耐食性、プレス加工性および接合性に優れていることから、自動車の燃料タンク材料として広く使用されている。このターンめっき鋼板の製造法、性能特性を解説する。さらにアルコール燃料を始めとする代替燃料は最近ではクリーン燃料として注目を集めているが、内外での代替燃料動向を解説し、今後の燃料タンク材料の動向も紹介する。

16:00~16:40

演題 『自動車用鋼材の耐遅れ破壊特性に関する二、三の検討』

講師 住友金属工業(株) 小倉製鉄所 西田 和彦

自動車部品の高強度化は自動車の燃費向上・軽量化の有力な手段のひとつとして、検討が重ねられている。1000 MPa を超す鋼材の高強度化には、強度・靱性のバランスのみでなく、遅れ破壊に対する低抗性をも考慮した材料開発が必要となってきている。そこで材料開発の立場から「遅れ破壊」に関する従来の研究成果を振り返り、最近開発された耐遅れ破壊性ボルトをもとに耐遅れ破壊性の方向と今後の課題について述べる。

3. 問合せ先 日本鉄鋼協会九州支部(新日本製鉄(株) 八幡製鉄所生産技術室 永島)  
〒804 北九州市戸畑区飛幡町 1-1 TEL(093)872-6131

<聴講>無料 <交通機関>JR 小倉駅北口より徒歩 10 分